

山口県感染症発生週報

(第8週:平成24年2月20日～2月26日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第7週追加:6例(下関2例、岩国1例、宇部3例)。第8週:2例(下関、宇部)。

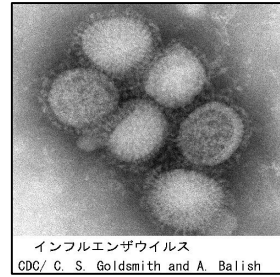
【3類感染症】

◆腸管出血性大腸菌感染症: 第8週:1例(山口 O26;VT1)。

【5類感染症】

◆劇症型溶血性レンサ球菌感染症: 第7週追加:1例(宇部)。

◆梅毒: 第8週:1例(下関)。



2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

◆インフルエンザ: 患者報告数は3週連続して減少していますが、警報レベルが続いています。すべての地域で流行しており、宇部は注意報レベル、その他の地域は警報レベルです。迅速検査では、A型陽性1535例、B型陽性52例、A型B型陽性1例、臨床診断135例でした。また当所で、第7～8週の検体についてPCR検査を行った結果、A/H3(香港型)が5例、B型が3例、A/H3(香港型)B型共に陽性が1例検出されています。

【警報レベル=下関(5週目)、周南(9週目)、萩(5週目)、柳井(6週目)、山口(6週目)、長門(6週目)、岩国(6週目)、防府(6週目)】【注意報レベル=宇部(6週目)】※

◆RSウイルス感染症: 萩、長門では他地域と比較して多くみられます。

◆伝染性紅斑: 周南は警報レベルが続いています。【警報レベル=周南(6週目)】※

◆流行性耳下腺炎: 長門は警報レベルが続いています。【警報レベル=長門(12週目)】※

◆マイコプラズマ肺炎: 一旦減少していましたが、今週は11例報告がありました。特に防府からの報告が多くみられます。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuuiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	6週	7週	8週	疾患名	6週	7週	8週
インフルエンザ	3257	2714	1723	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	47	33	46	ヘルパンギーナ	0	0	0
咽頭結膜熱	3	10	8	流行性耳下腺炎	23	21	26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	161	134	133	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	318	339	385	流行性角結膜炎	2	3	2
水痘	104	74	75	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	3	2	5	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	23	23	23	マイコプラズマ肺炎	7	6	11
突発性発しん	23	29	30	無菌性髄膜炎	0	0	1

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	535	137	103	289	74	159	300	57	69	1723
RSウイルス感染症	12	3	2	4	3	2	5	7	8	46
咽頭結膜熱	3	0	0	1	3	1	0	0	0	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	12	9	28	9	18	8	7	5	133
感染性胃腸炎	64	55	1	99	6	80	56	3	21	385
水痘	38	6	6	7	4	2	8	4	0	75
手足口病	2	1	0	2	0	0	0	0	0	5
伝染性紅斑	1	0	4	15	0	1	2	0	0	23
突発性発しん	7	1	1	7	3	5	4	0	2	30
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	7	2	1	4	0	0	0	12	0	26
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	1	2	0	0	5	1	2	0	0	11
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

※平成24年3月29日に報告数の修正がありました。